

滋賀県公安委員会定例会議会議録等

第1 日時

令和5年2月17日（金）午後1時30分～午後3時45分

第2 出席者

1 公安委員会

北村委員長、大塚委員、高橋委員

2 県警察

鶴代本部長、森脇警務部長、長生活安全部長、野崎刑事部長、寺堀交通部長、野村警備部長、竹谷首席監察官、溝口情報通信部長

第3 議事の概要

1 協議事項

警察職員の援助要求について

野崎刑事部長から、警察職員の援助要求について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。その際、各委員から「ここに至るまでに相当な苦労があったと思われませんが、引き続き、しっかりと捜査を進めていただきたい。」旨の発言があった。

2 報告事項

(1) 令和5年度警察官募集キャッチコピーコンクールの実施結果について

森脇警務部長から、令和5年度警察官募集キャッチコピーコンクールの実施結果について報告があった。その際、各委員から「どれも素晴らしいキャッチコピーばかりで、パンフレットも工夫されている。これにより多くの優秀な人材が獲得できることを期待したい。」旨の発言があった。

(2) 令和4年中における警察安全相談の受理状況について

森脇警務部長から、令和4年中における警察安全相談の受理状況について報告があった。その際、大塚委員から「相談件数の増加は、警察が頼りにされている証でもある。引き続き、県民の信頼に応えられるよう活動いただきたい。」、高橋委員から「相談内容も多様化しており、関係機関との連携も推進し、適切に対応いただきたい。」旨の発言があった。

(3) 特殊詐欺の被害者アンケートから判明した被害防止のポイントについて

生活安全部長から、特殊詐欺の被害者アンケートから判明した被害防止のポイントについて報告があった。その際、高橋委員から「今後の対策に活かされる貴重なアンケート結果であり、より綿密に分析し、対策を講じていただきたい。」大塚委員、北村委員長から「特殊詐欺の手口は、色々あり、また、新たな手口も出てくるなどして、どんどん変化しながら犯行が繰り返されている。手口を知っていれば被害に遭わずに済んだケースもあるので、色々な手口をどのように紹介すれば、県民に周知できるかを検討していただきたい。」旨の発言があった。

(4) 令和4年中のサイバー空間の脅威をめぐる情勢について

長生活安全部長から、令和4年中のサイバー空間の脅威をめぐる情勢について報告があった。その際、大塚委員、北村委員長から「色々な形で広報、啓発してもらっているが、まだまだ、広く県民に知られていないように感じるところがある。検挙されているケースを広報するなどの新たな仕掛けを行い、より多くの県民に活動内容が伝わる工夫をお願いしたい。」旨の発言があった。

(5) 大規模集客施設におけるテロ対策訓練の実施について

野村警備部長から、大規模集客施設におけるテロ対策訓練の実施について報告があった。その際、大塚委員から「本番を見据えた緊張感のある訓練をしていただきたい。」、高橋委員から「ケースバイケースであるが、今後、医療機関との連携も検討していただきたい。」、北村委員

長から「こうした訓練も広く広報し、警察活動をアピールしていただきたい。」旨の発言があった。

第4 個別報告・決裁関係

1 報告事項

警務課から、警察活動の課題等について報告があった。

2 決裁関係

(1) 運転免許行政処分について

警察から、運転免許取消対象事案等について、事案の内容及び意見聴取並びに聴聞の結果の報告を受け、協議の結果、16件について行政処分を決定した。

(2) 公文書公開請求の受理について

警察から、公文書公開請求の受理について報告があり、これを了承した。

(3) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の運用状況について

警察から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の運用状況について報告があり、これを了承した。

(4) 安全運転管理者等講習業務の委託に係る公安委員会の認定について

警察から、安全運転管理者等講習業務の委託に係る公安委員会の認定について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。

このページについてのお問い合わせ
滋賀県警察本部警務部総務課公安委員会補佐室
電話：077-522-1231